

SNS上に蓄積されたインタレストグラフを用いた類似ロールモデルの発見と 企業検索支援サービス

弥富健太[†] 岡崎博樹[‡] 上林憲行[†]

東京工科大学[†] 手仕事工房[‡]

1. はじめに

ソーシャルメディアを活用した就職活動（以後、ソー活）は、学生と企業がSNS上のコミュニケーションを通して、従来よりも多くの情報を双方に享受できるという利点がある⁽¹⁾。ソー活でも、入社希望企業を探索する必要がある。企業探索の方法は、就職情報サイトやサーチエンジンを利用したカテゴライズされた探索が主であり、これは企業の広告費や検索ワードに大きく左右される。

本論文では、facebook上に蓄積されている「いいね！」ボタンの記録により構成されるInterest Graphに着目した。自分のInterest Graphが類似している人物をロールモデルとし、そのロールモデルの所属情報から企業を探索する。従来のカテゴライズされた探索ではなく、企業で実際に働くロールモデルからの企業探索を支援するサービスの提案を行なう。

2. サービスコンセプト

本論文で提案するサービスのコンセプトを図1に示す。従来の企業探索は主に図の左部のよう

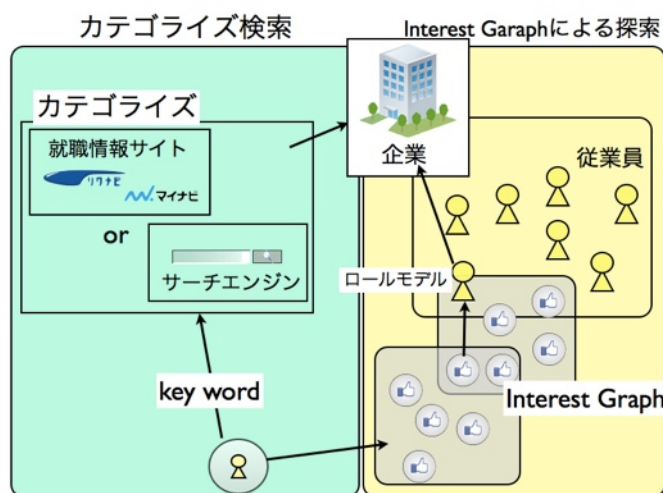


図1 サービスコンセプト

に、情報就職サイトが提供する業界や職種によるカテゴライズされた情報から探し出す、もしくはサーチエンジンなどを用いて企業名などをワード検索することで行われていた。これらは自身の関心のあるワードによる検索である。提案するサービスのコンセプトは、facebook上に蓄積された「いいね！」の記録を元に構成されるInterest Graphを用いる。Interest Graphはfacebook利用者全員が持っているものであり、Interest Graphが類似するユーザを抽出する。これをロールモデルとして、ロールモデルの所属情報から企業を発見する。カテゴライズされた情報ではなく、普段のfacebookでのアクティビティが反映された、企業探索を提供する。

3. サービスの実現方法

3.1 サービスアーキテクチャ

提案するサービスのアーキテクチャを図2に示す。最上層（provide service）にあるロールモデルと企業探索サービスは、個人のInterest Graphにより提供される。Interest Graphは、「いいね！」によりつながった、facebook上にある個人と友人のもつコンテンツ（Social Graph）と、個人や友人ではない他の人のコンテンツ（other）により構成される。

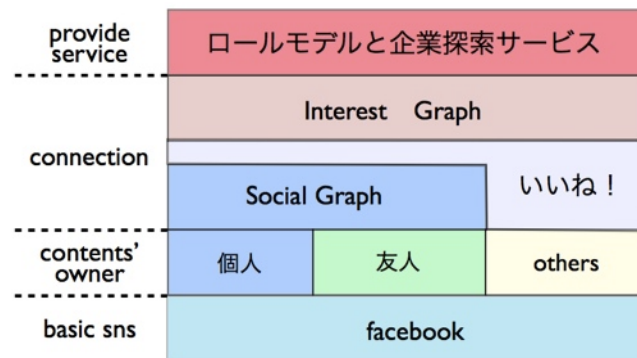


図2 サービスアーキテクチャ

“A service supporting to search a role model and a company via Interest Graph of Facebook”
Tokyo University of Technology[†], Teshigoto-Kobo[‡]

3. 2 サービスの実現方法

今回提案するサービスはfacebookアプリケーションとして実現する。実装はGoogle社の提供するGoogleApp Engine(以下, GAE)とfacebook社のGraphAPIを利用する(図3)。本サービスへの初回アクセス時にfacebookへの認証を行なう。認証時に取得したaccessTokenとuserIDをデータベースへ記録する。以後、このuserIDとaccessTokenを利用し、いいね!のオブジェクトリスト、友人のuserIDリスト、所属情報を取得する。いいね!のオブジェクトリストに含まれるオブジェクトIDを利用して、同一のオブジェクトにいいね!を行ったuserIDとそのオブジェクトIDとのリストを作成し、データベースに記録する。このオブジェクトIDとuserIDのデータセット、友人のuserIDリストを活用し、Interest Graphのマッチングを行ない、ロールモデルを抽出する。

マッチングの範囲は、友人を含まないユーザのリストを表示したり、対象とするいいね!オブジェクトの数を変動したりと、ユーザが任意に変更できるようにする。友人のuserIDリストといいね!オブジェクトのリスト、オブジェクトIDに対するuserIDリストは、1日おきに、ユーザが本サービスへアクセスする毎に更新する。

InterestGraphが類似するロールモデルが、本アプリケーションを利用している場合は、ロールモデルのもつInterestGraphを辿ることで、ロールモデルのロールモデルを探索できるようにする。

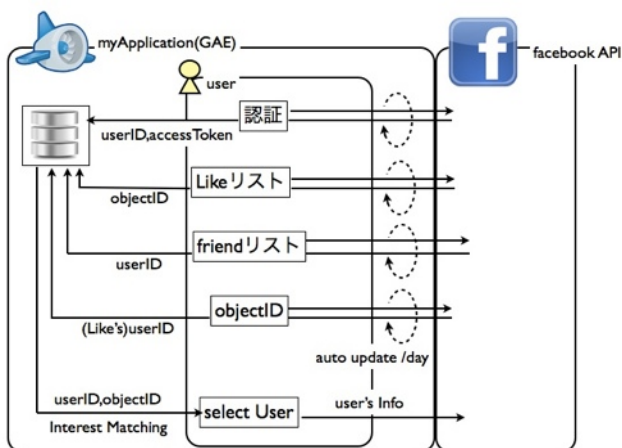


図3 サービス構成図

3. 3 コンセプトの試行的調査

上記で示したInterest Graphによるロールモデルと企業探索コンセプトに関しての試行的な調査として、Webによるアンケート調査を行った。今回の調査では、図4の斜線部(B)に該当する人物を抽出し、ロールモデルとして提示した。図4は、自身(me)、友人(friend)、個人が登録しているfacebookページやfeedsをwatch、個人に直接関係のないfacebookユーザをotherとし、各円はそれぞれのInterest Graphを表している。アンケートの結果、Interest Graphにより未知の企業を発見できる割合は67%であった。

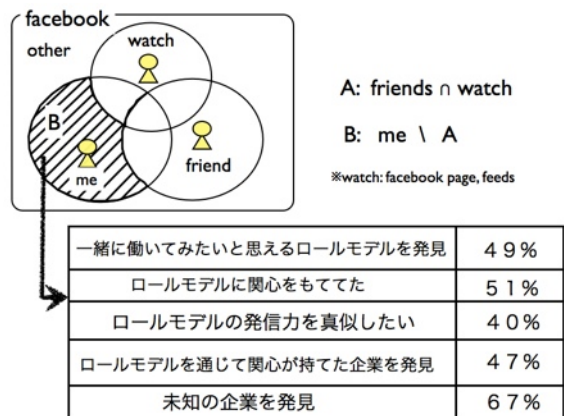


図4 アンケート調査時の表示人物の領域と結果

4. まとめ

今回はいいね!によるInterest Graphを活用したロールモデルと企業探索を提案した。アンケート調査では、関心のある企業を発見できる割合は47%、未知の企業を発見できた割合は67%であったが、今後は更にマッチングの精度を高め、より関心のある企業を抽出できるようにする。またfacebookの他にも日常的に利用されているSNS上にあるInterest Graphと所属情報を活用する。所属情報より抽出した企業名から、各企業のHPへのリンクなど、ロールモデルの発見の幅を広げることと、その後スムーズに企業情報を得られるようなサービスの提供を目指す。

参考文献

- 1) 高橋暁子: Facebookで就活に成功する本, 自由国民社 (2011)